

■長崎平和学 授業計画

単元	学習内容
<p>①イントロダクション</p> <p>[1] 現代の核兵器</p> <p>②世界の核兵器の現状</p> <p>③核兵器を〈持つ〉国々</p> <p>④核兵器に〈頼る〉国々</p> <p>⑤核兵器を〈持たない〉国々</p> <p>⑥核軍縮のルール(1)</p> <p>⑦核軍縮のルール(2)</p>	<p>世界の核兵器開発・配備の歴史や現状を知ることによって、原爆投下から77年経った現在でも原爆や核について学ぶ必要性を理解する。</p>
<p>[2] 長崎原爆が投下されるまで</p> <p>⑧「原爆投下は正しかった」と考える人たち</p> <p>⑨広島・長崎への原爆投下はなぜ起こったか</p>	<p>長崎原爆が投下されるに至った歴史的経緯を理解し、原爆投下に対する世界の人びとのさまざまな評価について認識する。</p>
<p>[単元3] 長崎原爆投下後に起こったこと</p> <p>⑩被爆後・戦後の長崎</p> <p>⑪女性たちの原爆体験</p> <p>⑫外国人被爆者</p> <p>⑬核実験の歴史</p> <p>⑭地域社会と核開発(1)</p> <p>⑮地域社会と核開発(2)</p> <p>⑯〈特別編〉カネミ油症とは何か?</p> <p>⑰キリスト教と原爆</p>	<p>核兵器が個人や社会に与える被害は、それが使用された瞬間にとどまらない。原爆使用後に起きた出来事を知ることによって、核の恐怖の別の側面を知る。</p> <p>ウランの採掘から放射性廃棄物の処理に至る一連のプロセス全体を視野に入れて、核兵器というものをとらえる。</p>